

ハイソサエティ

プレイ人数 :3-5人 / 対象年齢 :10歳以上 / プレイ時間 :30-45分
ハイソサエティでは、集団の中で自分が最も有力かつ裕福であることが重要です。あなたは個人的な幸運によって現金を手に入れました。あなたはこれを仰々しい財産とステータスシンボルの為に費やしつつ、一方では災難に脅かされるのを避けるべく動きます。あなたが勝利者となるには、最高のコレクション（と、社会的地位を争うライバルのうち最低一人を上回るだけの現金）が必要です。あなたにできるでしょうか？

内容物

- ◆ 貨幣カード 55枚 (5色各 11枚)
- ◆ 贖済品カード 10枚
- ◆ 褒賞カード 3枚
- ◆ 災難カード 3枚
- ◆ ルールカード 8枚

ゲームの概要と目的

ゲームでは3種類のカードについて競りを行います。贖済品カード、褒賞カード、災難カードです。競りで贖済品カードや褒賞カードを落札すると、自らのステータスが上昇します。一方、競りで災難カードを押し付けられてしまうと、自らのステータスに悪い影響があります。ということで、プレイヤーは贖済品カードや褒賞カードを手に入れるべく、そして災難カードを回避すべく、手持ちの貨幣で競り値を競います。ただし、あまり貨幣を使いすぎてはいけません。ゲームが終わった時、所持金の最も少ないプレイヤーはこのハイソサエティから退場となってしまいます。退場しなかった中で、最も高いステータスを得た（つまり最高得点の）プレイヤーが勝者となります。

© 2011 Dr. Reiner Knizia 1/8

カードの説明

このゲームには「貨幣」「贖済品」「褒賞」「災難」と4種類のカードが登場します。このうち、貨幣カード以外の3種類をまとめて「ステータスカード」と呼びます。

貨幣カード

貨幣カードはプレイヤーの購買力を表します。これらを手札として、いくらか持っている他のプレイヤーに見えないように持ちます。全員、1, 2, 3, 4, 6, 8, 10, 12, 15, 20, 25（単位：百万ドル）の11枚の貨幣カードを持ってゲームを始めます。

贖済品カード

贖済品カードは人々の夢です。ダイヤモンド、ヨット、等々。全部で10枚ある贖済品カードには、それぞれ1から10までのステータスポイント（以下、単に「勝利点」と呼びます）が書いてあります。

これらの贖済品カードを落札すべく、貨幣カードを使用します。

褒賞カードと災難カード

新たな機会も新たな苦痛も、あなたの大事な富と共にやってきます。得点全体に対し、褒賞カード（3枚）はプラスの、災難カード（3種各1枚）はマイナスの影響を与えます。

・褒賞カード (2X)

所有者の勝利点を2倍にします。

・災難カード：邸宅火災 (1/2)

所有者の勝利点を半分にします。

・災難カード：スキャンダル (-5)

所有者の勝利点を5点減らします。

© 2011 Dr. Reiner Knizia 2/8

競りの終わり

競りの終わりがたは、贖済品カードや褒賞カードをめぐる競りの場合と、災難カードをめぐる競りの場合とで異なります。

贖済品カードや褒賞カードの競りの場合

1人を除く全員がパスしたら、残った1人、つまり最高値を付けたプレイヤーが落札者となります。落札者は競りの対象となっていた贖済品または褒賞カードを取り、どんなカードを取ったかわかるよう、手元に公開します。

このステータスカードの代金として、自分の手元に競り値として出していた貨幣カードを、全て伏せてゲームから取り除きます（箱にしまってください）。

なお、値付けされることなく全員がパスをした場合、最後に手番が来たプレイヤーが無料でそのステータスカードを受け取ります。

災難カードの競りの場合

災難カードの競りは、1人がパスをした時点で終了します。パスをしたプレイヤーが、その災難カードを自分の前に公開する形で置きます。パスをしたプレイヤーが出した貨幣カードは全て手札に戻ります。他の全員は、ビッドとして出した貨幣カードを全て伏せ、ゲームから取り除きます（災難カードの競りでは、災難を押し付けられないようにする為にビッドを行うのです）。

© 2011 Dr. Reiner Knizia 5/8

競りの例

ポール、ノーラ、ゲイリーは5の贖済品カードを競っています。ポールは600万ドルのカードを出します。次にノーラが800万ドルのカードを出し、値を上げます。ゲイリーはさらに競り上げることに決め、400万ドルと600万ドルのカードを出し、1000万ドルの値を付けます。ポールは少しだけ競り上げたいのですが、彼の最小の貨幣カードは800万ドルであり、彼は合計1400万ドルの値を付けたくはありません。その為彼はパスすることに決め、600万ドルのカードを手札に戻します。ノーラは600万ドルのカードを出し、800万ドルのカードの隣に置きます。ゲイリーはパスをして2枚の貨幣カードを手札に戻します。ノーラが競りに勝利し、自身の出していた貨幣カード2枚を捨てて贖済品カードを手に入れます。

次の競りへ

今回の競りでステータスカードを入手したプレイヤーが、次の競りの親になります。山札からカードを1枚めくってください。先の説明と同じ手順で新たな競りが始まります。

ゲームの終了

16枚のステータスカードのうち、赤取りが赤いカードが4枚だけ（褒賞カード3枚と邸宅火災カード）あります。4枚目の赤取りのカードが山からめくられたら、その瞬間、直ちにゲームは終了します。

この4枚目の赤取りカードと、山札に伏せられたまま残っているステータスカードは、誰のものにもなりません。

© 2011 Dr. Reiner Knizia 6/8

・災難カード：盗難（斜線入りの四角）

このカードを入手したら、直ちに自分の贖済品カードから1枚を選んで捨てます。盗難カードは、選んだ贖済品カードと一緒に、ゲームから取り除きます。まだ贖済品カードを持っていない場合、盗難カードをいったん手元に置いておき、最初に贖済品カードを獲得した時点で、その贖済品を盗難カードと一緒に捨てます。

準備

プレイヤーは各自、単一色による11枚一組の貨幣カードを受け取り、手札とします。全てのステータスカード（贖済品、褒賞、災難の計16枚）をよく切り、テーブル中央に山札として伏せて置きます。

適当な方法で最初の競りの親を決めます。親が山札からカードを1枚めくり、ゲームが始まります。

競りの流れ

親が山札からステータスカードを1枚めくると、そのカードを対象とした競りが始まります。めくったカードの種類によって競りの方法は異なりますが、まずは共通の流れについて説明します。

競りにおいては、親が最初の手番を行います。その後は競りが終わるまで、各プレイヤーに時計回りで手番が回ってきます。手番のプレイヤーは、ふたつの行動、つまり「ビッド」と「パス」のうち、どちらか1つを選んで行います。

© 2011 Dr. Reiner Knizia 3/8

ビッド（値付け）

「ビッド」を選んだプレイヤーは、1枚以上の貨幣カードを手札から出し、金額が全員から見えるように手元に公開します。そして、公開している貨幣カードの合計額を、自分の競り値として宣言します。自分の手番が来る前に他のプレイヤーが既に競り値を宣言している場合、それを競り上げる、つまり今回の競りにおいて今までに宣言された競り値よりも高い競り値を宣言しなければいけません。

競り値が上昇していく限り、手番は時計回りに巡っていくので、同じプレイヤーが手番を複数回行うこともあります。二回目以降の手番は、既に何枚か貨幣カードを公開した状態で巡ってくるわけですが、この時、パスではなくビッドを選ぶのであれば、既に公開している貨幣カードを手札に戻してはいけません。手札からカードを追加することしかできず、カードの交換はできないのです。貨幣カードを追加したら、既に公開している貨幣カードと合わせた合計額を競り値として宣言してください。

パス

ビッドを行いたくない、あるいは行えないなら、「パス」を選ぶことになります。パスを選んだら、自分が手元に公開していた貨幣カードを全て手札に戻します。

贖済品カードや褒賞カードを巡る競りの場合、いったんパスを選んだプレイヤーには、この競りが終わるまで手番が回ってこなくなります。災難カードを巡る競りの場合、誰かが1人がパスしたら、その時点で競りが終了します。

© 2011 Dr. Reiner Knizia 4/8

退場

ゲームが終了したら、各自、手札に残した貨幣カードの額を合計します。所持金が最も少ないプレイヤーはハイソサエティから退場となり、即座に負けになります。最少金額のプレイヤーが同額で複数いる場合、その該当者全員が退場、負けとなります。

得点計算

退場させられずに残ったプレイヤーは、自分の勝利点を以下のように計算します。

1. 自分の贖済品カードに書かれた勝利点を合計する。
2. スキャンダルカードを持っているプレイヤーは、勝利点合計から5を引く（ゼロ未満にはなりません）。
3. 次に、褒賞カード1枚ごとに勝利点を2倍にする。
4. 最後に、邸宅火災カードを持っているプレイヤーは、勝利点を半分にします。

勝利点を最も多く獲得したプレイヤーが勝者です。

同点の場合、該当者のうち最も値の大きい贖済品カードを持っているプレイヤーを勝者とします。

得点計算の例

贖済品：優れた芸術作品 (+3)	3
宮殿 (+9)	12
災難：スキャンダル (-5)	7
褒賞：1枚目 (2x)	14
2枚目 (2x)	28
災難：邸宅火災 (1/2)	14
合計勝利点	14

© 2011 Dr. Reiner Knizia 7/8

クローズド・スコアリング・バリエーション

通常のゲームでは獲得したステータスカードを全て公開しますが、このバリエーション・ルールでは、獲得したステータスカードは全て、公開せず伏せて手元に置きます。自分自身のカードはいつでも中身を確認して構いません。このバリエーション・ルールはゲームをとても興味深いものにします。

成功の為のヒント

1. お金を無駄にしてはいけません。最も貧しいプレイヤーは必ず負けるのです。
2. 競り値が行き過ぎているなら、ためらわずパスをしましょう。我慢強く、自分のチャンスを待ちましょう。
3. 両替はできないので、残っている貨幣カードに注意しましょう。
4. 対戦相手が既に使用した貨幣カードを憶えておきましょう。こうすることで自分の相対的な強さを把握できます。
5. 災難カードから身を守る為、貨幣カードがいくらか必要です。これを忘れないようにしましょう。
6. どのステータスカードが山に残っているか把握しましょう。全員の手元にあるステータスカードを見渡せば確認できます。
7. ゲームの早期終了には常に備えておきましょう。
8. ゲーム終了まで冷静に。苛立ちを見せてはいけません。

著：ライナー・クニツィア

© 2011 Dr. Reiner Knizia 8/8